

令和3年度 第1回学校評議員会議事録

1 日 時 令和3年6月25日(金) 14:35~15:40

2 場 所 本校 中会議室

3 本校の学校経営計画

安心安全な学校づくりが最重要であり、いじめがなく、生徒が明るく生活できる学校を目指す。

- ① 意欲のある生徒・学生を確保するための情報の発信に努める。
- ② 学力の向上を図りながら、社会に通用する生徒の育成に努める。
- ③ 地域へ貢献できる、ものづくり人材の育成と専攻科の充実を図る。
- ④ キャリア教育を充実し、特に今年度の大きな課題である進路指導の充実を図る。
- ⑤ 全日制、専攻科ともに入学志願者が増えるように、本校の良さをアピールしていく。
- ⑥ 本校の各分野の数値目標は学校要覧の資料のとおり掲げた。

4 本校の教育活動の現状と課題

① 総務部

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、年度初めの始業式入学式から規模の縮小や時間短縮を余儀なくされた。今年度もPTA総会は書面審議となった。10月の黒工祭は、内容を一部変更して保護者のみの公開とする計画で進めている。

② 教務部

「確かな学力」を保証し、授業時間数の確保と「わかる授業」を達成するために互見授業の全員参加と授業力向上を図る。

三者面談を通じて、家庭の協力を得ながら家庭学習の定着を進めて、学力向上に取り組む。

支援を要する生徒への対応を充実させる

「三角比コンペ」を開催して目標を持たせながら数学の学力を身に付けさせる。

③ 生徒指導部

昨年度の問題行動は8件、今年度はまだない。新型コロナウイルス感染症対策の工夫により全体の対面式、各工業科の歓迎会、スポーツ大会を実施出来た。

スマートフォンを預かっており、預かり中の破損に備えて保険加入を継続した。

生徒心得をオンライン閲覧に変えた。

生徒心得を現在の状況に相応しい内容へ全面改定をする予定。

④ 進路指導部

3月の卒業生の進路は、就職者73%、進学者27%であった。今年度の希望調査で

は、就職希望72%、進学28%である。昨年度より県内就職希望が増えた。

⑤ 専攻科

令和3年度の入学選抜実施計画については資料のとおり。

オープンキャンパスは、年2回、資料のとおり実施する。

令和2年度卒業生で、初めて実習教諭（公務員）が誕生した。

5 意見

- ① 髪型については、採用試験で有利不利になるとは明言できないが、面接指導等で清潔感を持てるように指導した方がよい。
- ② 中学校の段階から職業を意識させる教育が必要だと考える。
- ③ 社会人としての意識を高めるように指導してほしい。家庭のしつけか、学校の指導か線引きが難しいレベルのことを会社で教育しなければならない。
- ④ 「いじめの防止」について、学校の外で社会人との関わりを持たせた方がよいのではないか。自分を客観視できるスキルを持てると思う。
- ⑤ 企業と一緒にボランティア活動をしてみてはどうか。社会のニーズが明確になり、その課題を解決する能力が身につくのではないか

6 感想

評議員A：授業を参観したが、いつも新鮮な刺激を受ける。部活動だけではなくものづくりに興味を持っている中学生は多くいると考えるので、機会を得て宣伝していきたい。また、音楽の授業を拝見して、深い学びを体現しており、文字通りアクティブラーニングを展開していると感じた。

評議員B：いつも願っていることだが。生徒の技術の向上に努めて、地元のために貢献できる人材を育ててほしい。

評議員C：施設設備や授業を参観して、地元から期待されている学校だと改めて感じた。北上工業団地など黒工を取り巻く環境はとても良いと思うので、是非北上市などと連携して県外からの募集を行ってほしい。

評議員D：SNSを通じて、部活動の練習メニューやトレーニング内容を公開してほしい。中学生や親はSNSを見て学校選びを行うことも多いと聞くので、SNSの

良い面を活用してほしい。

髪型のツブロックにはヘアスタイルがまとまりやすいという良い面もある。

安易に禁止ではなくて、清潔感を持つことの大切さを指導してほしい。

7 学校長より謝辞

本日は、お忙しいところを出席していただき、併せて貴重な意見を伺うことができて感謝している。学校はこれで終わりということはなく常に変化し続けていかなければならない。御意見を集約し、検討して今後の経営に生かしたい。今後も本校の発展のために御尽力を賜りたい。